

# 教主さまご染筆 香良洲神社・大本友好祈念碑除幕式



建立イメージ

日時 / 10月18日(金) 午前10時30分  
場所 / 香良洲神社

【第1部】 教主さまご臨席「除幕式」、引き続き香良洲神社・大本合同祭典「奉納の儀」

【第2部】 ご神宝拝観(神楽殿)併わせて「神明屏風」等ゆかりのあるお作品展

18日(金): 正午~4時 / 19日(土): 午前10時~午後4時

# 三河本苑だより

9月号

2024・9 No.508

(発行者)

大本三河本苑

〒443-0031

蒲郡市竹島町28-5

TEL 0533-69-7518

FAX 0533-69-1455

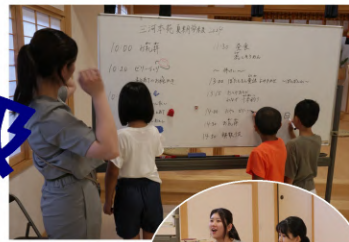
みんなと友だち! 楽しい夏休み!!

三河本苑

## 少年夏季学級



友だちいっぱい



笑顔がいっぱい

楽しさいっぱい



## 令和6年 三河本苑秋季大祭・秋季合同慰霊祭のご案内

【日時】 令和6年10月20日(日) 午前10時より

【場所】 大本三河本苑

【諸行事】 ・冠沓句巻開き ・大祭添釜 ・信徒作品展

前日10月19日(土)午後1時より 全員参加の本苑清掃を行います。役員の方は、午前10時より 駐車場草取りをよろしくご協力 お願いします。

◎募集!! 冠沓句は9月月次祭まで、信徒作品は大祭前日午後1時、高井まで

令和6年 秋季大祭奉納冠沓句の募集  
【冠句題】  
・ 数々の世も  
・ いろいろと  
【沓句題】  
・ 教主さま  
【沓切】9月15日(日)  
(本苑9月月次祭)  
※1人5句まで 芸術部

9月の行事

●1日(日) 第2回エスプレントの会

●11日(水) 第22回全国一斉

世界平和祈願

●15日(日) 本苑9月月次祭

・ 敬老会

●29日(日) 宣伝使・宣伝使になるための研修会  
午前10時~午後3時半

10月の行事

●18日(金) 教主さまご染筆

香良洲神社・大本友好祈念碑除幕式

●18日(金) 霊界物語全国一斉 拝読会

●20日(日) 本苑秋季大祭

・ 祖霊慰霊大祭  
・ 奉納冠沓句・大祭添釜  
・ 信徒作品展

## 敬老茶会

九月添釜

敬老の日をお祝いし

一服のお茶を差し上げます

茶道部/直心会第三ブロック

# 宣伝使・宣伝使になるための研修会

とき／9月29日(日)

ところ／大本三河本苑

対象／宣伝使および宣伝使になれる方

聖師さまは約100年前、「ご神業のままた、世を救へ、世人を救へ」というお示しがあります。今年は今和567(みろく)激動の年の2年目に当たります。宣伝使・宣伝使候補の皆様方、「ご祈願」「み手代お取次ぎ」についての実習を通して、その意義と活用方法を学びます。

# “信徒の集い” エンディングノート「書き方講習会」

教務局長 永田修三

6月30日、三河本苑にて、信徒の集い「エンディングノートの書き方講習会」を朝9時から特任宣伝使芝田豊海講師のもとで12時まで行いました。参加者は22名で、初め予想していた人数よりも多くの信徒の方々に参加して頂き、誠に嬉しく思います。

このエンディングノートは残された遺族への伝言として、とても大切な物となり、葬儀の誄詞を作る上でも、とても参考になります。又、自分自身への新たな発見と確認にもなりますので、まだエンディングノートをお持ちでない方は、宣教部、事務局へ申し出て頂ければ在庫はありますので、いつでも申し出て下さい。



## 靈魂の恩頼 2 (みたまのふゆ)

(大正14年12月)「日出磨先生之旧稿」P56より

同じ物を人に與(あた)えるにも、甲は心中「彼奴(あいつ)にやるのは嫌だけれど、今機嫌をとつておかねば悪いから」と考え、乙は「これだけの物をやつておけば又いつか返してくれるだろう」と考え、丙は「とに角可哀想だから」と考えている。即ち同一の行為でもそれに籠っている靈はそれぞれ異なる。だからそれを貰った人はそれぞれ異なるお蔭を享けることになる。

神様に物をお供えする場合でも、その人の想念次第

で神様へはそれぞれ別々に驚くことになるのである。外的の言語動作のみを云為している間は、その人の未だ体的である証拠である。すべて内儀を掴(つか)む、掴むまでに至らなくても、感ずることが肝要である。

○ 何かを為(す)るのではなくては内流は来ない。川がなければ水は流れない。形式のない処に実体は納まりようがない。だから我々は絶えず真剣で何かをして居らねばならぬ。そのしている事はごく卑

近なことでもよい、一生懸命にさへなつており、ある程度の興味をさえ感じておれば、それは靈的には必ず相応な収穫となっているのである。

○ 然るに表面上では致し方なく従事しているもの何等(なんら)の興味もなく、光も見出せないという様なことでは、靈的には欠損をこそしておれ、何らの収穫も有り得よう筈がない。

○ 人間がほんとうに惟神に立帰つたならば、丁度幼児の朝夕のように、さしたる苦痛なしにすらすらと生活できるのだとつくづく思う。

○ 実際人間は自分でいろんなもの：お金や機械や時間や書物や法則や予想や追憶や：をこしらえておいて、そしてそれら自分が作ったものによつて絶えず脅威され、圧迫されているのである。

○ 自分が主人で一切は従属であるべき筈なのに、まるで主客顛倒(しゅきゃくてんどう)して従属物のために、主人が使役(しえき)されている場合が多い。一切の儀礼やしきたりなどが一面如何(いかん)に我々の心を腐らせており、縛っているか

○ すべてこれらは外物に捉(とら)われて居るからである。

○ 腕(うで)をなさずして外面的虚偽(こゝろ)の生活をして居るからである。

## 献納御礼

渥美分所 二村和子様

八雲琴 一台

右、献納いただきました。厚く御礼を申し上げます。

三河本苑

つく

## ひと時の「ばあちゃん」

### 「調教師」

「ばあちゃん」は居間でテレビドラマを見て「ばあちゃん」は携帯をいじっている。ドラマでは、居間の電話がアップで映り「ルルル…」と鳴り響いた。携帯に夢中の「ばあちゃん」は「電話！」と一言「ばあちゃんはその言葉にテレビと分かっている。反射的に家の受話器を取ろうと立ち上ると、間髪いれず「ばあちゃん」の「テレビ」の一言に「お座りをした。携帯操作をしながらのこの合図とタイミングは、サーカスの調教師でも、それはまね出来ない。じいちゃん」は感服した。

## 私の思い

西尾分所 調子温子

### 「いい出会に感謝して」

人生には出会があります。私のいい出会は、謀スポーツジムと出会った事です。数年前から膝が悪くなり、長い距離を歩くには杖がなくてはとても無理な状態でした。外出する際は杖が必需品でした。

加齢により足の筋力が衰え膝に負担がかかり、痛くて歩けなくなっていたのです。そんな折、知人の紹介でこのスポーツジムをしり、思い切って入ってみました。ジムというとボディビルをやる人ばかりと想像していましたが、ここは衰えた筋肉を取り戻す事に重点をおいた器具が多く、利用者が年配の人が半数以上でした。

負荷をかけて体の部位を動かす事により、筋力がついてくるのです。理にかなった器具ばかりでした。ほぼ毎日通い6カ月を過ぎた頃に、杖なしで歩けるようになりました。今では20分から30分は普通にあるけます。近くにいいジムがあった事、又紹介してくれた方など、いろいろな事に感謝しています。

人生100年時代と言われています。加齢と共に落ちる筋力を補いつつ、スクワットそして、事務通いで最後まで自分の足で歩けるよう努力していきたいと思っています。